

第6学年 国語科学習指導案

日 時：令和5年 11月22日（水）公開授業Ⅰ

対象児童：滝沢市立滝沢小学校6年2組 32名

授業者：前野 傑

- 1 単元名 表現の工夫をとらえて読もう
教材名 『鳥獣戯画』を読む（光村図書 6年）

2 単元の目標

- (1) 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕(2)ア
- (2) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

- (1) 児童について
本学級の児童は、第5学年の「固有種が教えてくれること」で文章以外の資料を用いた効果を考えながら読む学習を行っている。また、1学期に学習した「時計の時間と心の時間」では、複数の事例を取り上げて説明した筆者の意図を捉え、筆者の主張に対して自分の考えをもちながら読む活動も行っている。
しかし、説明的文章を読む上で、図表と文章を対応させて読むことはできたが、論の進め方について考えることに課題を感じていた。
本教材で筆者の読み手を意識した表現の工夫を学習し、それを活用して次の単元でパンフレットを作成する活動につなげていきたい。
- (2) 教材について
本教材「『鳥獣戯画』を読む」は、十二世紀末に生み出された「鳥獣人物戯画」の一場面について、高畑勲氏がアニメーション映画監督の視点で書いた尾括型の論評文である。読者を絵の世界に引き込むことができるように「鳥獣戯画」の一場面について、解説や解釈、評価を交えながら説明している。さらに、「鳥獣戯画」の素晴らしさについて、絵や絵巻物に対する筆者の評価を「鳥獣戯画は国宝であるだけでなく、人類の宝なのだ」という言い方でまとめている。また、筆者の考えを読者に納得させるために、「書き出し」や「絵の示し方」など表現や構成を工夫しながら説明している。これらのことから、文章と絵を結び付けるなどして、絵の示し方や論の進め方など表現の工夫を捉えて読み、次の単元となる「日本文化を発信しよう」につなげることができる教材である。
- (3) 指導について
本単元の指導にあたっては、絵と文章を結び付けて、筆者が何に着目し、それをどのように評価しているのか、筆者のものの見方や考え方、そして論の進め方を捉えて読めるようにする。言語活動を「高畑勲流、解説文を書くこと」と設定し、パンフレットを作成させたい。そうすることで、読み手としてだけでなく、書き手の立場も意識できるようにしていきたい。
書き手の意識を常にもたせるために、筆者の表現の工夫を生かして、「自分だったらどうするのか」を問い、対話させたい。読み手を引き付けるための書き方を常に考えることで、パンフレットをただ書く活動にならないようにする。
また、ICTの活用については、ICTを文房具のように用いることで、手書きだけでは補えられない、何度もすぐに修正できるデジタルのよさを活用していく。そうすることで、限られた時間の中で課題を解決する有効な手段になると考える。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(1)ウ	筆者の表現の工夫や、文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取り、学習の見通しをもって粘り強く取り組んでいる。

5 単元計画（5時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・「『鳥獣戯画』を読む」の高畑勲流の論の進め方の工夫を生かして、解説文を書くという学習の見通しをもつ。			
2	・絵と文章を照らし合わせながら、筆者が『鳥獣戯画』をどう読んでいるかを明らかにする。	・知(行動観察) (シート分析)	・思(行動観察) (シート分析)	
3	・筆者の「絵についての評価」と「絵巻物についての評価」を読み取る。	○知(行動観察) (シート分析)	・思(行動観察) (シート分析)	
4	・考えを効果的に伝えるための論の進め方の工夫について考えることができる。		○思(行動観察) (シート分析)	・態(行動観察)
5 本時	・筆者の論の進め方の工夫を、生かして解説文を書く。		・思(行動観察) (シート分析)	○態(行動観察)

6 本時の指導（5時間目/全5時間）

(1) 目標

筆者の論の進め方の工夫を生かして、解説文を書くことができる。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
思考 判断 表現	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	筆者の表現の工夫をワークシートにまとめておき、解説文を書くときの手助けにさせる。グループでの対話や全体交流で、友達の考えをよく聞くようにさせる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導 入	1 前時想起	◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価 ・筆者の論の進め方を生かすことを見通しとしてもたせる。 ・よりよい解説文にするという本時の課題につなげる。
	2 課題把握	
2 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【学習課題】 高畑勲流、解説文を書き、論の進め方の工夫を再確認しよう。 </div>	

<p>展 開</p> <p>40 分</p>	<p>3 解決の見通し ・学習の進め方を確認する。</p> <p>4 課題解決 (1)自分の考えを書く際の、書き方を確認する。</p> <p>(2)筆者の主張を生かして自分の解説文を作る。</p> <p>(3)友達と対話し、論の進め方の工夫ができていないかを確認する。</p>	<p>・筆者の表現の工夫を生かして、日本の国宝である「鳥獣戯画」を解説する文を書くという課題を全体で確認する。</p> <p><input type="checkbox"/>筆者の表現の工夫をワークシートにまとめて提示し、それを生かして、書くという条件を確認する。</p> <p><input type="checkbox"/>モデル文を参考にして書かせ、悩む児童への手助けとなるようにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【条件】 ①筆者の論の進め方の工夫を生かす。 ②三つに分けて書く。 (ア)絵の説明(描写) (イ)絵の注目ポイント (ウ)自分の評価</p> </div> <p>・二つの絵を提示し、どちらかを自分で選び、解説文を書かせる。</p> <p>◇自分の考えを書く際の条件を満たしているか、論の進め方の工夫ができていないかを対話によって明確にし、助言し合う。</p> <p><input type="checkbox"/>筆者の論の進め方の工夫を生かして、解説文を書いているかどうかを確認する。</p> <p>●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【児童が目指す解説文】</p> <p>①「猿がおやつを盗んだぞ～」と蛙が言っているように見えるかい。兎がススキを頭の上にあげて目指すは猿の頭。さあ、もうすぐ追いつきそうだ。</p> <p>②これは、逃げる猿と兎を追いかけて、ススキを振りかざす兎と後を追う蛙の場面である。三匹の登場人物の口元に注目してほしい。それぞれが何かを言い放っているのが分かる。しかも、追いかけている勢いが存分に伝わってきて素晴らしい筆使いだ。</p> <p>③この一場面だけで、アニメやマンガを想像させるストーリーを、読み手に伝えさせているのが、実に素晴らしい。</p> <p>【高畑勲流 論の進め方の工夫】</p> <p>①絵の描写 ②絵の説明 ③自分の評価・主張</p> <p>【児童の対話の姿】</p> <p>Aさん：私は、筆者の「実況中継」と「読み手に語り掛ける」工夫を使って、よさを伝える論の進め方をしています。また、鳥獣戯画を評価する言葉も入れることによって、すばらしさを伝えるようにしました。</p> <p>Bさん：Aさんの解説文は、筆者の文章を真似しながら自分の言葉でよさを伝えているので、とても分かりやすいです。</p> <p>Cさん：論の進め方がよくできているので、絵を説明する注目ポイントのところで、文章と資料を結び付ける言葉があるとさらにAさんの解説文がよくなると思います。</p> </div>	

終末 3分	5 振り返り	・解説文を書き，論の進め方の工夫を見付ける課題に対して，振り返りシートで自己評価させる。
	6 次時予告	

(4) 板書計画

